

デートDV・DV研究会HYGGE（ヒュッゲ）の活動

デートDV・DV研究会 HYGGE ヒュッゲ



HYGGE（ヒュッゲ）とは

HYGGEは、デンマーク語で「ほっとして癒される、居心地のいい満足感や幸福感」を意味します。私たちは、男女の役割分担から解放された、ジェンダー平等の居心地のいい暮らしを作るお手伝いをします。

DVとジェンダー平等

DV(**domestic violence**)は、「ジェンダー(社会的性差別)」に起因しています。

DVの被害者の暴力被害は、女性である場合、配偶者からの被害が多いのですが、多様な性や男性も暴力による被害を受けています。家庭内では、面前DVなど幼い子どもへの影響があることを否定できません。

身体的暴力・経済的・精神的暴力によるPTSD（心的外傷後ストレス症）などの影響を受けることもあります。

デートDV・DV加害者更生教育

①グループ・プログラムとは

DV行動をやめたい人が、グループプログラムを通して、自身のDVの態度や行動を振り返り、パートナーや子どもとの共感的態度、尊重する関係性等を学びDVのない行動ができます。

カウンセリングではありません。

プログラムは、これまでの力と支配による暴力を容認する価値観を見直します。暴力によらない解決方法に気づき、共感能力を高め自らが変わっていくことを実感できます。居心地よく穏やかで満足度の高い暮らし方が感じられるような生活（ヒュッゲ）を目指しましょう。

②プログラムの内容

「一般社団法人アウェア」認定の実施者により、指定のDV加害者プログラムを使用します。プログラムは概ね52回以上です。

③プログラムの実際、受講手続き

事前申し込み制。詳細は面談の上決定します。

秘密は厳守

定員 男性10人、女性は相談に応じます。

日時 毎月2回、第2・4日曜日14時～16時

場所 受講決定後お知らせします。

講師 社団法人アウェア認定DV加害者プログラム
ファシリテーター

(一般社団法人アウェアHP)

<https://aware-jp.com/>

※何でもご相談ください。



HYGGEのその他の活動内容

- ・デートDV防止プログラム講座
- ・発表会や講演会の実施
- ・調査、研究活動

①ドメスティック・バイオレンス（DV）およびデートDVに関する青年期学生の認識、四国大学紀要、第50号、19-26（2020）

②DV加害経験者の暴力から非暴力に向かう認知－当事者インタビューより－四国看護学研究学会誌、第2巻、第1号（2023）など

お問い合わせ先

E-mail : hygge.tokushima@gmail.com

E-mail : 39nktakayama@gmail.com

ホームページなど

<https://sites.google.com/view/hygge-tokushima>

YouTubeチャンネル



活動を支えてくださる方を募集しています

協賛金・寄付にご協力をお願いします。

1口¥1,000円から